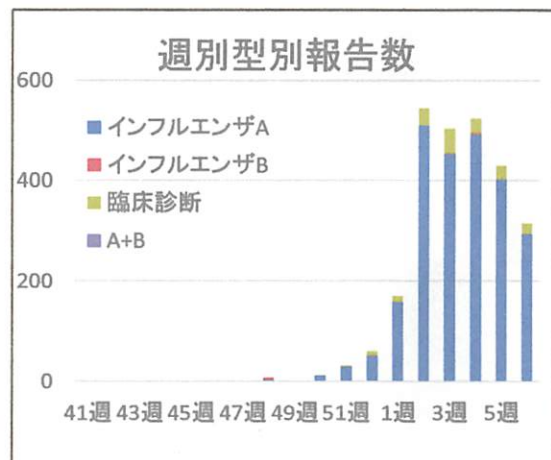


今シーズンのインフルエンザの状況

2019年2月10日

(2月10日までの報告です。)

	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0	0	2	1	11	29	50	157	510	451	492	401	293	2397
インフルエンザB	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	3	3	1	0	13
臨床診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	12	34	49	29	27	21	183
A+B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総診断数	0	0	1	0	0	0	0	6	1	12	31	59	169	544	503	524	429	314	2593



2月10日までの報告のまとめです。21の医療機関より2593例の報告がありました。2週になり3学期が始まり、小児の報告が増えて、インフルエンザAの地域での流行が始まりました。2週から4週にかけて報告数のピークがあり、5週よりは減少しています。家族内感染やクラス内感染が増えて、臨床診断はほぼインフルエンザAです。インフルエンザBの報告数は13例と少なく、今後も大きな流行になっていくとは思われません。このまま、終息してくれるとありがたいのですが、今週になり2回目のインフルエンザAり患例のクラス内流行の報告がありました。

1月までの岡山県のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm 11 AH3 11例 B(山形系統)2例 と報告されています。

1回目はAH1pdm、2回目はAH3と予想されます。まだまだ注意が必要です。

2月8日までの教育委員会からの報告は797人で、例年に1500人前後の報告があるので、比較すると少ないです。

中学校	1873	171	9.1%
小学校	4,042	479	11.9%
幼稚園	854	111	13.0%
こども園	153	36	23.5%
合計	6,922	797	11.5%

流行の立ち上がりは、2016-2017のインフルエンザAが流行したシーズンに似ています。

以前に比べて、感染予防対策への理解も高まり、体調不良の場合は無理をせず休むことに抵抗が少なくなりました。

マスクの着用、手洗い、タオルの共有やコップの回し飲みは避けるなど、感染予防に努めて下さい。

